

草相撲の話

折口信夫

青空文庫

我々には、相撲と言へば、春場所・夏場所の感じだけしかなかったが、誹諧の季題では、これが秋の部に這入つて居る。宮廷の相撲の節会が、初秋の行事だったからである。しかし、実際に諸国の村々では、今でもこれを秋に行つて居るところが多い。

宮廷では、早くに、すべての行事が整頓せられて、相撲節会なども出来たのであるが、これは、村々の行事がとり入れられたと見るよりも、宮廷も、もとは一箇の邑国であつたので、その当時から行はれて居たと見る方がよいと思ふ。

村々で行ふ相撲の事を、草相撲と言ふのは、今では、民間の相撲の意味だと思はれて居る様だが、実は、相撲の古い形は、体に草

をつけて行うたのである。これは、古代の信仰では、遠くからやつて来る ストレンジヤー 人の姿だったのである。日本紀・風土記などに記されてある例で言ふと、蘇民将来を訪ねたときのすさのをのとは、病氣といふ事と殆同義語だったので、その聯想から、病魔退散の相撲といふ様にも考へたらしい。しかし、村々に残つて居るものを見ると、今でも、実際に、体に草をつけて行つて居るところがある。

何故、相撲をするには、体に草をつけて異人の姿をしなければならなかつたか。それは、此神事がもとは、神と精霊との争ひを表象したものであつたからだ。即、遠くから、威力のある神がやつて来て、土地の精霊を征服する形だったのである。そして、外か

ら来る神は大きく、精霊は小さいと考へて居た。だから、相撲は、もとは大きいものと小さいもので取り組んだのであるが、後に、力競べの方に興味が傾く様になつて、大人の相撲と子供の相撲とが、別々に行はれる様になつたのである。

村々で行はれる相撲の場所には、大抵、田の用水がある。川・池のほとりが選ばれるが、これは水の神の信仰があつたからだ。しかし、農村では、常に信仰の変化が激しいので、後には、水の精霊が相撲を好むと考へる様になつた。それから、河童が相撲を好むといふ伝説なども出来たので、河童は、実は水の神がこんなにも形を変へてしまつたのである。中古以後、相撲の節会に、左方の力士は葵花、右方の力士は瓠花ヒサゴを頭へ挿して出たが、瓠は水に

縁のあるものだったので、水の神の所属の標らしく、葵は、それ
に對立する神の一類を示したのだと思はれる。

相撲が、初秋に行はれるのは、もとは、二百十日・二百二十日の
厄日を控へた、農村では最大切な時期に、此神事が行はれたのだ
と思ふ。もとは、もつと演劇的要素の多いものだったと思ふが、
それが、力競べにのみ興味が傾いて来たのは、此、時期の關係か
らであつた。即、神と精霊との争ひといふ原の意義が忘れられて、
部落同士の争ひが主になつたからだ。これも、もとは豊年の神を
取り合ふ争ひであつたのが、後には、たゞ年占だけの考へで、勝
てばいゝといふ風になつた。これが、諸国でやかましく言はれる
様になつたのは、宮廷で、諸国から秀手ホデと言ふものを集め、宮廷

を中心として、国を東西に分け、いづれが豊年であるかを占つた事からであるやうだ。秀手といふのは選手の事である。

とにかく、相撲は、もとは力競べだけでなく、もつと演劇的要素の豊かなものであつたと思ふ。今も、土俵入りなど、いふ事が行はれるが、宮廷の相撲の節会にも、舞ひが伴うて居る。しかし本来は、相撲そのものが、もつと演劇的なものだったので、それは、春の初めに、遠くの神が来て、その年を祝福して、田の行事をして見せて行く演劇的所作が行はれた、その復演であつたと思はれる。即、田の作の実らうとする時期に、もう一度それを行つたのが古い形であつたと思はれるのである。

青空文庫情報

底本：「折口信夫全集 21」中央公論社

1996（平成8）年11月10日初版発行

底本の親本：「折口信夫全集 第十七卷」中央公論社

1967（昭和42）年3月25日発行

初出：「郷土科学研究 第一号」

1931（昭和6）年9月25日発行

※底本の題名の下に書かれている「昭和六年九月「郷土科学研究」第一号」はファイル末の「初出」欄に移しました。

入力：門田裕志

校正：フクポー

2018年5月27日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

草相撲の話

折口信夫

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>